



ニュースリリース 平成 24年 4月 27日

東日本大震災復興ファンドによる東洋刃物㈱への融資実施について



株式会社常陽銀行（代表取締役頭取：寺門 一義）と株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）が共同で出資する東日本大震災復興ファンド「いばらき絆投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、東洋刃物株式会社（本社：宮城県黒川郡、代表取締役社長：庄子公侑、以下「当社」という。）に対して1億円の融資を実施いたしました。本件は、当ファンドにおける3件目の投融資案件となります。

当ファンドは、地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する常陽銀行と投融資一体型の金融サービスを提供するDBJとの連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興を支援するため平成23年9月に設立されました。

当社は、東北帝国大学附属金属材料研究所（現：東北大学金属材料研究所）の研究成果の工業化を目的として大正14年に設立された工業用機械刃物等の製造事業者です。当社製品は、高度な金属加工技術により顧客から高い評価を得ています。東日本大震災により主力工場の一つである多賀城工場（宮城県多賀城市所在）が全壊するなどの被害を受けたものの、復旧・復興のみならず、生産拠点の集約等により、震災前以上の経営基盤の強化に取り組んでいます。

本件は、かかる取り組みを進める当社の震災復旧・復興資金について資金供給を行うものであり、復興ファンドの取組趣旨に合致するものとして、実施されたものです。

当行は、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

【ファンドの概要】

- (1) 名 称： いばらき絆投資事業有限責任組合
- (2) 規 模： 50億円（当初）
- (3) 設 立： 平成23年9月30日
- (4) 出資者： 無限責任組合員（GP）： (株)SFGパートナーズ
有限責任組合員（LP）： 常陽銀行、DBJ
- (5) 期 間： 投資期間3年、存続期間10年（但し、必要があれば、投資期間で2年以内、存続期間で5年以内の延長を行うこともあります。）

【ファンドのスキーム図】

